

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和7年5月21日(2025.5.21)

【国際公開番号】WO2024/018620
【出願番号】特願2024-534889(P2024-534889)
【国際特許分類】

A 6 1 B 5/0538(2021.01)

A 6 1 M 25/09(2006.01)

A 6 1 B 5/053(2021.01)

10

【F I】

A 6 1 B 5/0538

A 6 1 M 25/09 5 1 6

A 6 1 B 5/053

【手続補正書】

【提出日】令和7年5月12日(2025.5.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

センサ付きガイドワイヤであって、
コアワイヤと、

前記コアワイヤの先端部を囲む第1コイル体と、

前記コアワイヤの先端と、前記第1コイル体の先端と、を接合する先端チップと、

センサが設けられた管状部材と、

を備え、

30

前記管状部材は、前記コアワイヤを囲み、

前記管状部材の先端部は、前記第1コイル体の基端部の内側に配置されており、

前記管状部材の先端部と前記第1コイル体の基端部とは接合されている、センサ付きガイドワイヤ。

【請求項2】

請求項1に記載のセンサ付きガイドワイヤであって、さらに、

前記第1コイル体よりも基端側において前記コアワイヤを囲む第2コイル体を備え、

前記管状部材の基端部は、前記第2コイル体の先端部の内側に配置されており、

前記管状部材の基端部と前記第2コイル体の先端部とは接合されている、センサ付きガイドワイヤ。

40

【請求項3】

請求項2に記載のセンサ付きガイドワイヤであって、

前記第2コイル体の先端部の外径は、前記センサを含む前記管状部材の外径よりも大きい、センサ付きガイドワイヤ。

【請求項4】

請求項3に記載のセンサ付きガイドワイヤであって、

前記センサは、表面に前記センサが配置されたシート状の部材であるセンサシートが前記管状部材に巻回されていることより、前記管状部材に設けられている、センサ付きガイドワイヤ。

【請求項5】

50

請求項 1 から請求項 4 までのいずれか一項に記載のセンサ付きガイドワイヤであって、前記第 1 コイル体の基端部の外径は、前記センサを含む前記管状部材の外径よりも大きい、センサ付きガイドワイヤ。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 4 までのいずれか一項に記載のセンサ付きガイドワイヤであって、さらに、

前記第 1 コイル体と前記コアワイヤとの間に配置されて、前記コアワイヤの先端部を囲む内側コイル体を備え、

前記内側コイル体の基端部は、前記管状部材の先端部の内側に配置されている、センサ付きガイドワイヤ。

10

20

30

40

50